

JA全農杯 全国小学生選抜サッカー IN四国
大会要項

- 1 大会名称 JA全農杯 全国小学生選抜サッカー IN四国
- 2 主催 日刊スポーツ新聞社
- 3 主管 (一社)四国サッカー協会 (一社)愛媛県サッカー協会 第4種委員会
- 4 後援 公益財団法人日本サッカー協会
- 5 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
- 6 協賛 高知県農業協同組合
香川県農業協同組合
- 7 期日 令和4年4月2日(土)・4月3日(日) 開会式は実施しない。
- 8 会場 愛媛県総合運動公園 球技場・補助競技場・多目的グラウンド
愛媛県松山市上野町乙46番地
- 9 参加資格
- 2022年度に(公財)日本サッカー協会に加盟登録している第4種のチームであること。(準加盟チームを含む)(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。
 - 上記団体(チーム)に所属する選手であり、2010年4月2日以降の出生者であること。
 - 各県予選を勝ち抜いた12チーム(県予選時の登録選手で構成し、18名に満たない場合は補充を認める)または、四国各県の推薦を受けたチームであること。
 - 原則としてチームの編成は、引率指導者3名、選手18名とする。(選手18名を登録できないチームは参加できない。)引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - 2022年5月3, 4, 5日 日産スタジアムで開催される「JA全農チビリンピック2022 JA全農杯 全国小学生選抜サッカー決勝大会」に参加可能なチームであること。
- 10 競技方法
- 【予選リーグ】1グループ3チームによるリーグ戦(4グループ)
グループA: 高知県1位・香川県2位・徳島県3位
グループB: 愛媛県1位・徳島県2位・香川県3位
グループC: 香川県1位・高知県2位・愛媛県3位
グループD: 徳島県1位・愛媛県2位・高知県3位
【決勝トーナメント】各グループ1位4チームによるトーナメント戦を行う。
1位グループの1位が四国代表として全国大会に出場する。
同様に2位グループ、3位グループのトーナメント戦を行い、1位~12位までの順位を決定する。
 - 試合時間は36分(12分×3ピリオド)
 - インターバル:第1ピリオドと第2ピリオド間は、選手総入替えに要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は5分以内とする。
 - 第3ピリオドはコイントスにてサイドを決定し、6分が経過したのちサイドをチェンジし他方のチームによるキックオフで試合を再開する。
 - 勝敗の決しない場合、予選リーグは引き分けとする。決勝トーナメントは、6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式(3人ずつ)により勝敗を決定する。

5. 予選リーグの順位決定は、勝ち点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
勝ち点は、勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点 とする。
ただし、勝ち点と同じ場合は、得失点差・総得点・当該チーム間の対戦結果・抽選の順により順位を決定する。

3) 選手の交代

1. 第1ピリオド⇒第2ピリオドは、選手を総入れ替えすること。(第1ピリオドに出場した選手は、第2ピリオドに出場できない。)
2. 第3ピリオド以降(延長戦含む)は、自由な交代とし全ての選手が出場できる。

11 競技規定

- 1) 大会実施年度の最新版「8人制サッカー競技規則」((公財)日本サッカー協会)により実施するが、細則については、大会実施委員会決定の要項によるものとする。
- 2) ボールは、少年用4号球を使用する。
- 3) ベンチに入ることができる人数は、13人(交代要員:10人、引率指導者:3人)
- 4) テクニカルエリアを設置する。
- 5) テクニカルエリアからのコーチングは1名のみとする。テクニカルエリア内にいる役員(監督・コーチ・スタッフ等)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後、再度何れかの役員が同様の行為をした場合は、主審の判断によりその役員を退席処分とし、それ以降のテクニカルエリアからのコーチングは不可とする。
- 6) 競技者が退場を命じられた場合、該当チームは速やかに交代要員の中から競技者を補充しなければならない。常に8人でプレーすることを基本とする。ただし、
 1. 全ての選手は、第1ピリオド又は、第2ピリオドの何れかと、第3ピリオド以降に出場できる。
 2. 試合時に16名以下の場合、交代要員がいないこととなり、第1ピリオド、第2ピリオドで退場、負傷者がでも補充は認めない。
- 7) 退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置は、本大会の規律委員会で協議し、四国規律裁定委員会の決定をもって通知する。
- 8) 警告の累積が2つとなった競技者は、次の1試合に出場できない。
- 9) 警告の累積、出場停止処分は、リーグ戦からトーナメント戦へ持ち越しする。
- 10) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために、フィールドに入場を許される引率指導者の数:2名まで
- 11) 飲水タイムは採用しない。
- 12) アディショナルタイムの表示:決勝トーナメントのみ実施
- 13) 1人制審判を採用し、補助審判1名を指名する。
審判員は、各県からの派遣により担当する。参加チームに審判の割り当てはない。
- 14) 競技場:天然芝もしくは、人工芝のグラウンドを使用する。
- 15)
 1. ピッチサイズ:縦68m、横50m (会場により変更あり。)
 2. ペナルティーエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角に12m
 3. ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角に4m
 4. センターサークル:半径7m

5. ペナルティーマーク:8m
6. ペナルティーアーク:7m
7. コーナーキック、フリーキック時の壁との距離:7m
8. ゴール:ゴールの内のり 縦2.15m、横5m

- 16) グリーンカードの導入
- 17) 試合中のアップはボールの使用を禁止する。ベンチ後方またはベンチサイドの空きスペースを利用してください。
- 18) マッチコーディネーションミーティング(MCM)
 1. 試合開始予定時刻の30分前に、本部にてMCMを行いますので、メンバー表を持参してください。(運営・両チーム)
 2. 初日の第1試合のMCMは、監督会議の後に実施します。

- 12 選手用具
- 1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - 2) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - 3) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - 4) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - 5) 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及び、ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - 6) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に登録し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。参加申込書に登録されたものを原則とする。
 - 7) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
 - 8) 選手は、参加申込書に登録した番号を付けること。
 1. GK⇒FP:ゲーム使用と同色のユニフォーム(同一番号)を着用。
 2. FP⇒GK:ゲームに不使用色のユニフォーム(同一番号)を着用。
 - 9) ユニフォームへの広告表示は本協会が定める規定に基づくものではない。
 - 10) 競技者のビブス着用は認めない。控え選手は、ビブス又は競技者と区別の付く上着を着用しなければならない。
 - 11) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくて良い。
 - 12) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - 13) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ※ ユニフォームが準備できないチームは、本大会へ参加できない。

- 13 表彰 優勝・準優勝・第3位:賞状・メダル・副賞(JA)、第4位:賞状・副賞(JA)
- 14 組み合わせ 別紙参照
- 15 監督会議 令和4年4月2日(土) 9:50~ 大会本部にて
質問がございましたら、開催1週間前までに大会事務局へ【e-mail】にてお問い合わせください。
- 16 参加申込み 1) 【参加チーム】
所定の参加申込書(参加申込書、参加チーム情報、プライバシーポリシー同意書)に必要事項を記入のうえ、3月11日(金)までに大会事務局宛へ【e-mail】で提出してください。
【役員】
宿泊・弁当申込書(役員)、参加チーム報告書に必要事項を記入のうえ、3月11日(金)までに大会事務局へ【e-mail】で提出してください。
2) 参加チームの宿泊・弁当の斡旋は行いません。各チームで手配をお願いします。
3) 役員の宿泊等については、大会事務局にて手配いたしますので別紙【役員:宿泊・弁当申込み書】に従い事務局までお申込み下さい。
(宿舎 :ホテルたいよう農園二番町 松山市二番町1丁目11-5)
- 17 その他 1) 参加チームは、傷害保険(スポーツ安全保険)に加入すること。なお、(一社)愛媛県サッカー協会は、試合会場での応急処置のみを行います。救急を要する場合は、後方病院に連絡し、不慮の状況に対しては、現場で可能な範囲で処置をいたします。
2) 閉会式は、最終戦終了後に実施する。
3) 登録選手の補充(変更)は、大会初日の監督会議終了までとする。
ただし、変更はやむを得ない理由(登録選手の怪我など)を前提とするものである。
※変更で削除される登録選手については、診断書など証明書類(写し)の提出をお願いします。前日、当日などの緊急を要する案件は、後日申請で構いません。
4) 大会当日に何らかの理由により、選手が18名に満たなくなることはやむを得ないことであり、17名~16名でも参加を認める。ただし、各試合開始時に16名未満となったチームは、その時点をもってオープン参加扱いとし、戦績を抹消、グループの最下位とする。
5) コロナウイルス対策は別紙の「新型コロナウイルス感染拡大防止対策について」を厳守すること。
- 18 大会事務局 〒790-0914 愛媛県松山市三町3丁目12-13 三町ビル105
一般社団法人愛媛県サッカー協会「JA全農杯選抜サッカーIN四国」大会事務局
担当:飯尾 始 携帯電話:090-4780-9033
Eメール:kidsiio@ma.pikara.ne.jp